

取り付けとメンテナンス

Shimano Dura-Ace 9250／Ultegra 8150
および105 7150用 OSPW RS

ceramicspeed

メンテナンス

大径プーリーのメンテナンス頻度に一律の基準はありません。
走行時の天候によって、必要なメンテナンスの頻度は変わります。

チェーンが摩耗すると、プーリーの摩耗が大幅に進みます。
チェーンは完全に摩耗する前に交換してください。

OSPW RSシステムにはCeramicSpeed Oilの使用を推奨します。
世界各地のCeramicSpeed取扱店、または当社オンラインショップで
購入できます。動画は ceramicspeed.com の「サポート」でご覧ください。

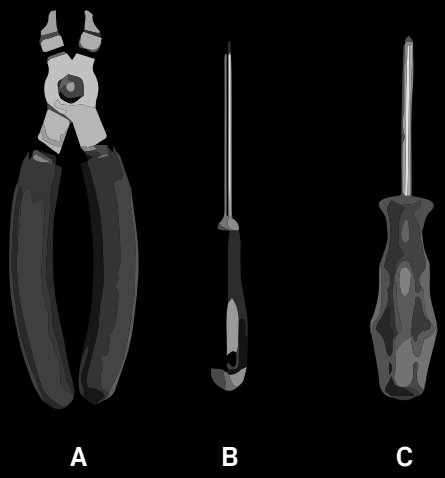
ADR付きALPHA Discプーリーの
ベアリングは、少なくとも年1〜2回、
通常の走行条件では10,000 km
（6,000マイル）ごと、極端または
過酷な条件では5,000 km
（3,000マイル）ごとに整備します。
ケージ裏側のプレートと上下の
プーリーを外し、全パーツを入念に
清掃します。ADRシールドを外した
状態でベアリングシールを慎重に
取り外し、UFO Bearing Cleanerの
使用手順に従ってベアリングを洗浄
します。UFO Pulley Oilを数滴差し、
プーリーのシールを戻します。
ケージに組み戻す際は、ADR付き
プーリーの回転方向に十分注意して
ください。ケージの支柱ボルトは
1.5 N·mで締め付けます。

5本スポークのアルミ合金製プーリー
のベアリングは、少なくとも年2〜3回、
通常の走行条件では5,000 km
（3,000マイル）ごと、極端または
過酷な条件では3,000 km
（1,800マイル）ごとに整備します。
ケージ裏側のプレートと上下の
プーリーを外し、全パーツを入念に
清掃します。ベアリングシールを
慎重に外し、UFO Bearing Cleanerの
使用手順に従ってベアリングを
洗浄します。UFO Pulley Oilを数滴
差し、プーリーのシールを戻します。
ケージに組み戻す際は、プーリーの
回転方向に十分注意してください。
ケージの支柱ボルトは1.5 N·mで
締め付けます。

必要な工具

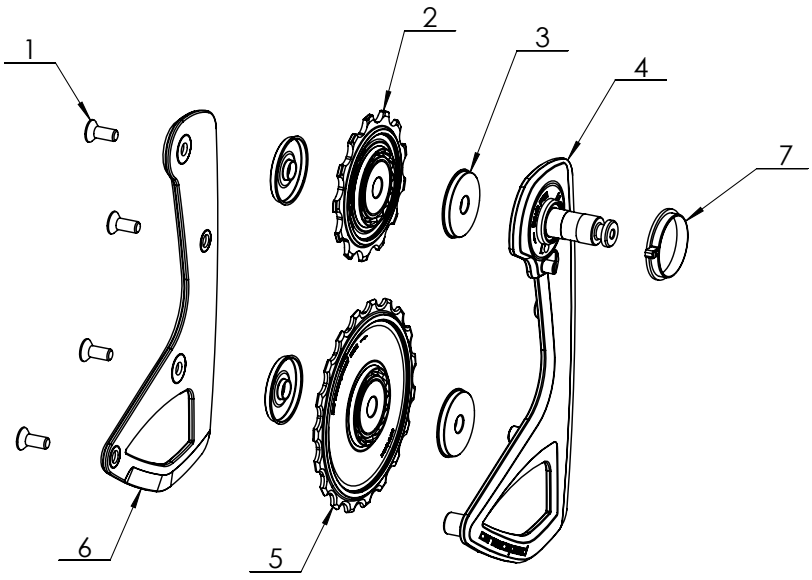
お買い上げのCeramicSpeed OSPW RS
（Shimano Dura-Ace 9250／Ultegra 8150／
105 7150用）の取り付けには、
次の工具が必要です。

A　チェーンカッター
B　T10 Torx®ドライバー
C　2番のプラスドライバー



CeramicSpeed 大径プーリーシステム RSの取り付け Shimano Dura-Ace 9200用

番号	部品名
1	ケージボルト
2	上側 ALPHA Disc（13T）
3	ステンレス製ADRダストシールド
4	ケージプレート（表側）
5	下側 ALPHA Disc（19T）
6	ケージプレート（裏側）
7	ディレイラー本体用ガスケット



注記

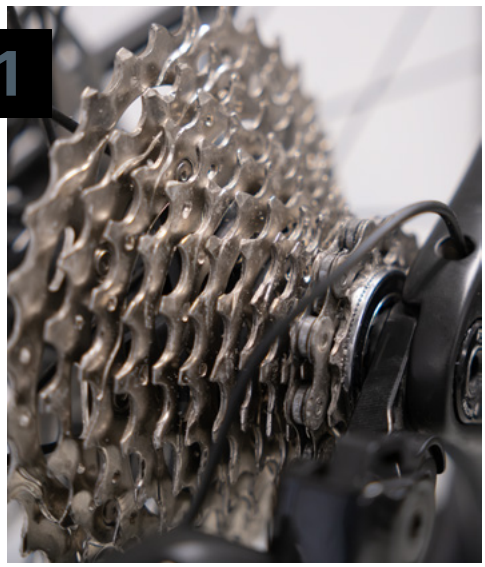
- 5本スポークのアルミ合金製プーリーには、
  支柱に合うステンレス製ブッシュが付いています。
- Shimano 105 7150とUltegra 8150では、
  純正のディレイラー本体用スペーサーを使用します。

取り付け手順

走行時に本来の性能を引き出すには、OSPW RSを正しく取り付けることが重要です。Shimano Dura-Ace 9250／Ultegra 8150／105 7150用のOSPW RSを取り付ける際は、以下の手順に従ってください。

注：105 7150の取り付け手順はUltegra 8150と同じです。
ただし、ケージとディレイラーはモデル間で互換性がありません。

1



自転車を作業スタンドに固定し、
後輪を外します。

2



OSPW RSの取り付け後は、
元より長い新品のチェーンが
必要です。

適切なチェーンカッターで
チェーンを外します。OSPW RSの
取り付け後は、元より長い新品の
チェーンが必要です。

注：使用済みのチェーンにリンクを
足すことは推奨しません。

3



ディレイラー本体の下側にある黒い固定ねじを
確認し、T10 Torxドライバーで緩めます。
ねじ山は軸の半分にだけ切ってあります。
ねじが約1 cm出て、ねじ山のかみ合いが
外れたら、残りは手で引き抜きます。
ケージがディレイラー本体から外れないよう、
親指で押さえてください。

4



ケージがディレイラー本体に干渉せず
回転できる位置に変速します。
Ultegra 8150または105 7150の場合は、
プラスドライバーで回転ストッパーねじを
外し、ケージをゆっくり戻します。
Dura-Ace 9250の場合は、ストッパーの突起が
外れる位置まで、ケージを手で本体から
引き離します。次にスプリングをゆっくり
戻してテンションを抜きます。このとき、
ケージは上下逆に見えます。

5



純正のプーリーケージと
スプリング一式を引き抜きます。
スプリングと樹脂スペーサーを
落とさないように注意してください。

6



シマノ純正ケージからスプリングと樹脂
スペーサーを外します。スプリングの先端は
フック状で、プーリーケージに引っ掛かる
構造です。Ultegra 8150または105 7150への
取り付け時に再使用するため、両方とも
取っておきます。Dura-Ace 9250では、純正の
樹脂スペーサーに代えて、OSPW RS付属の
厚いスペーサーを使用します。

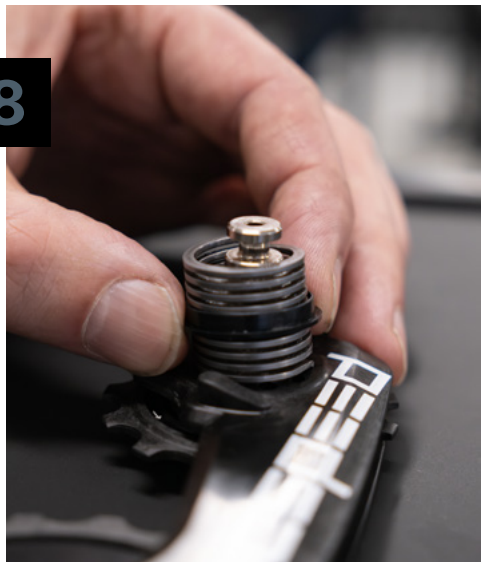
7



OSPW RSシステムを箱から取り出します。

Ultegraまたは105では、純正スプリングと樹脂
スペーサーを、純正ケージから外したときと
同じ向きで、OSPW RSの取り付け軸に通します。
スプリングのフック側と樹脂スペーサーの
平らな縁を、どちらもOSPW RSケージ側に
向けます。Dura-AceではOSPW RS付属の
厚いスペーサーを使用します。

8



OSPW RSケージのスプリングテンションは
H（強）からL（弱）までの4段階です。
Lではチェーンの張りと摩擦が減りますが、
変速性能はやや低下します。Hでは摩擦が
最も大きくなりますが、荒れた路面や
路面状況が混在するコースでは、チェーンを
最もしっかり保持できます。

9



Lの隣にあるテンション調整穴（弱い方から
2番目）を選び、スプリングのフックを奥まで
差し込みます。強く押し込む必要がある場合も
あります。樹脂スペーサーは、ディレイラー本体の
裏側に位置を合わせるまで、スプリングに
載せたままにします。

10



ディレイラー本体を後方に回し、
OSPW RSの取り付け軸を本体の裏側に
合わせ、ケージを車体の前方に向けます。
テンションスプリングと樹脂スペーサーを
本体の溝に合わせ、ケージが本体に
ぴったり合うまで差し込みます。
OSPW RSケージがスムーズに回転し、
スプリングが確実に固定されていることを確認します。

11



OSPW RSケージをディレイラー本体に
押し当て、反時計回りに回します（上、車体後方、
下の順）。傾斜の付いたストッパーの突起が、
本体側の止め位置をカチッと乗り越えるまで
回してください。

12



手順3で外した純正の黒いT10ねじを戻し、
ケージを固定します。締め付けトルクは
1 N·mです。これでOSPW RSシステムの
取り付けは完了です。

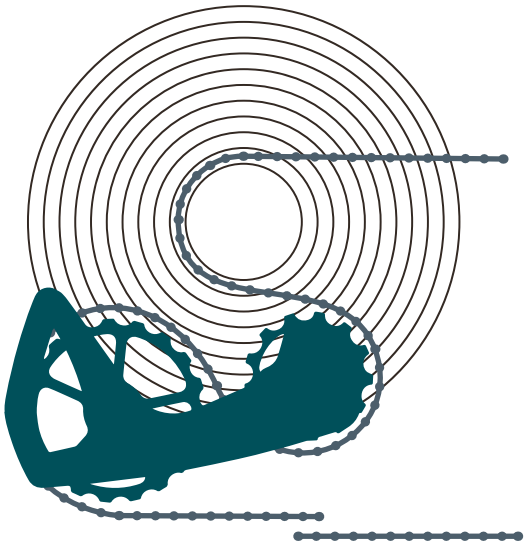
13



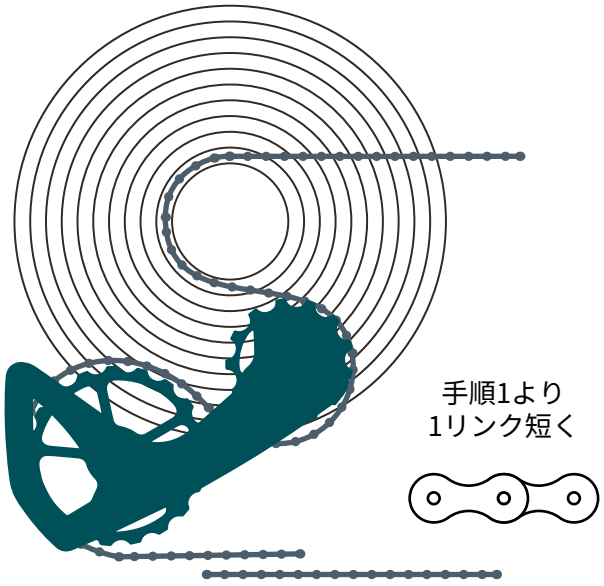
ディレイラーをトップ側に変速し、後輪を取り付けます。次ページの手順に従って
新品のチェーンを取り付けてください。ディレイラーハンガーの整列を確認し、
トップ側とロー側のリミットを点検します。Bテンションを調整し、最大
スプロケットと上プーリーのすき間を4〜7 mmに設定します。Di2のトリムを調整し、
スプロケットとプーリーの位置を合わせます。調整に不安がある場合は、資格を
持つメカニックに最終調整を依頼してください。
注：最良の結果を得るには、シマノ純正12速カセット（最大11–36T）を使用してください。

チェーン長

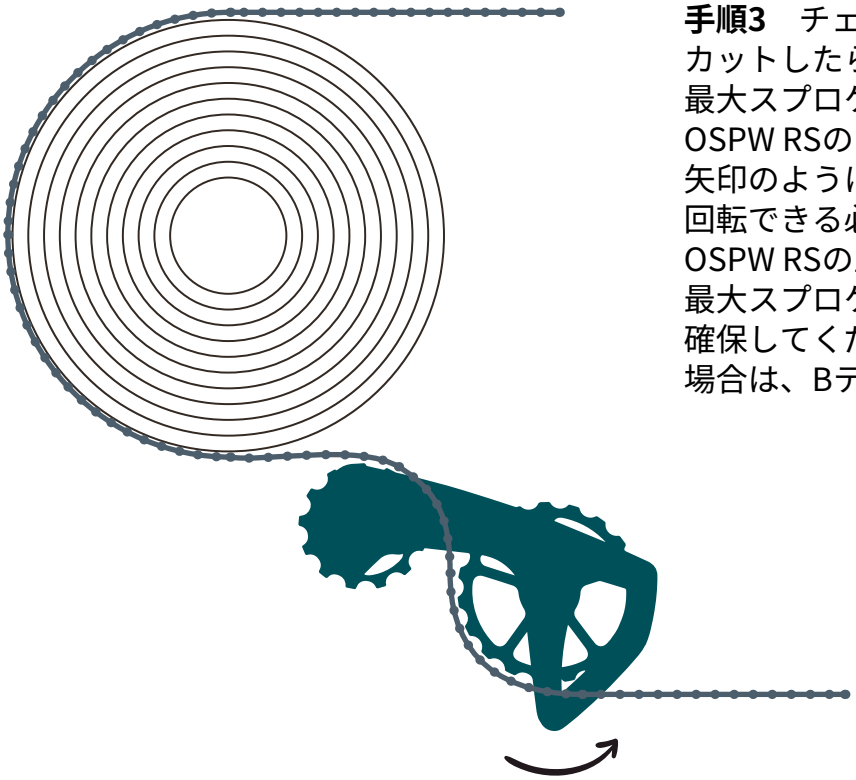
以下の手順で、現在のチェーン長を確認します。
チェーン長を変える必要がある場合は、そのまま以下の手順に
従ってください。



手順1　チェーンをリアの最小スプロケットとフロントの小チェーンリングに掛けます。適切なチェーン長を確認するため、長さを合わせてカットするときと同じように、チェーンの両端を引き寄せます。2つ目の図のように、ケージの下側がカセットから離れて下方に動き始めます。



手順2　チェーンに張りをかけた状態でOSPW RSが左図のような位置になったら、手順1より1リンク短くなるようにチェーンをカットします。このギアの組み合わせ（リアは必ず最小スプロケット）で十分な張りが得られるよう、必要なリンク数でチェーンをつなぎます。



手順3　チェーンを適切な長さに
カットしたら、リアをカセットの
最大スプロケットに変速し、
OSPW RSのすき間を必ず確認します。
矢印のように、ケージが反時計回りに
回転できる必要があります。
OSPW RSの上プーリーとカセットの
最大スプロケットの間にすき間を
確保してください。すき間が足りない
場合は、Bテンションを調整します。

ceramicspeed

製品に応じて生涯保証

幸い、保証対応が必要になることは多くありません。
当社の保証制度の詳細をご案内します。

標準製品（4年保証）

ボトムブラケット

プーリー

ホイールキット

ヘッドセット

大径プーリーシステム（OSPW）

単体ベアリング

生涯保証対象製品

コーティング仕様ボトムブラケット

コーティング仕様プーリー

コーティング仕様ホイールキット

コーティング仕様ヘッドセット

コーティング仕様単体ベアリング

SLT OHDヘッドセット

SLT OPDピボットベアリング

コーティング仕様OSPWシステム

ALPHA Disc OSPWシステム

すべてのOSPWケージ

当社は、業界最高水準のセラミックベアリング製品を製造し、
お届けすることに努めています。CeramicSpeed製品がご期待に沿わず、
その原因が材料または製造上の不具合にある場合は、
当社までご連絡ください。

ご購入から30日以内に、こちらのリンク、または
ceramicspeed.com/cycling の「サポート」から製品をご登録ください。
その後、保証期間内に保証申請が必要になった場合は、当社ウェブサイトの
同じセクションで申請内容を入力してください。
申請については、24時間以内のご返信に努めます。